

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 690402 奨学金支給事業						主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成					課長名	鈴木 正憲			
		施策	豊かな心と個性が輝くまち									
		基本事業	経済的援助による就学機会の増大									
	(1)事業の概要											
	低所得世帯で、学力優秀な高校生・大学生に対して、奨学金を支給する。 ：高校生 6,000円/月(72,000円/年) ：大学生 8,000円/月(96,000円/年)						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							奨学生申請件数		件			
							その指標					
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
支給要件：成績優秀な学生および生徒で、経済的な理由で就学が困難な方。保護者が1年以上市内在住。 支給額：高校生月額6,000円、大学生月額8,000円。 申請（継続）手続き：3月に書類提出。												
26年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
経済的理由により就学困難な学生及び生徒						名 称		単 位				
						奨学生申請者数		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
高等学校及び大学への就学援助をする。						名 称		単 位				
						奨学生認定者数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して生活でき、どんどん学習できる環境をつくる						名 称		単 位				
						支給を受けた奨学生の数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		件	15	18	18	18	18	18				
(6)の対象指標		人	15	18	18	18	18	18				
(7)の成果指標		人	15	16	16	16	16	16				
(8)の結果の成果指標		人	15	16	16	16	16	16				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	01	目	03
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	960	816	1,224	1,560	1,560	1,560				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	960	816	679	0	0	0				
	一般財源	千円	0	0	545	1,560	1,560	1,560				
人件費B		千円	804	636	636	636	636	636				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×1	158×1	158×1	158×1	158×1	158×1				
正職員以外の人件費		千円	50	50	50	50	50	50				
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	1,764	1,452	1,860	2,196	2,196	2,196				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	118	81	103	122	122	122				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690402 奨学金支給事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和49年 から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
経済的理由により就学困難な学生及び生徒に対して、授業料の援助をし、高等学校や大学への進学による経済的負担を軽減する			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない 変化し 経済的に就学困難な世帯が増加する一方で、変化している 内容 授業料が高くなっている。			

3 評価(SEE)	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			自治事務 →	根拠法令	みよし市奨学金支給に関する条例
				この事務を行う根拠又は理由	経済的理由で就学困難な学生・生徒に、学業に必要な資金を支給し、教育の機会均等・有用な人材育成に寄与することを目的とする
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	
			結びつかない →		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 →	内容	
			できない → 縮小 →		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 →	内容	
			できない → 拡充 → 絞込み →		
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい →	理由又は内容	経済的に困難な学生や生徒は、さらに就学が困難になるため廃止できない
		多少影響がある →			
		影響はない →			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる →	理由又は内容	現在の支給要件の見直しを図り、経済的に困難な学生や生徒に就学の機会を広げることができる	
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない →			
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 →	類似事業との再編の可能性	愛知県私学助成事業、民間の奨学金 等	
		ない → 庁外事業 →			
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある →	内容		
		ない →			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある →	内容		
		ない →			
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 →	内容		
		ない → 検討が必要 → 受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成22年度の申請急増以降、申請が多い状況が続いている。 平成25年度は予算の範囲内での申請数であったため、所得要件・成績要件をともに満たす申請について全て認可した。					